



わたしの夢

川俣小学校6年

橋本ほたる

日本史の面白さを伝える

漫画家になりたい

わたしの夢は、読んだ人が日本史を面白いと思える漫画を描く漫画家になることです。私がこの夢を抱いたのは小学4年生の頃に出会った「ねこねこ日本史」という漫画がきっかけです。それにしけんじさんが描いているこの漫画は「もしも歴史上の人物が猫だったら…」という設定で日本史を面白く学ぶことができます。もともと他の漫画を読んで日本史が好きだったので、この漫画を読んだから、より一層日本史が好きになりました。そこで私も日本史の面白さを漫画を通じて伝えたいと思うようになりました。漫画家になるために家や学校で時間があれば絵を描くように心掛けています。以前、休み時間に絵を描いていた時に友達に「絵上手だね」と言われてとても嬉しかったことを覚えています。漫画を連載するためにはたくさん資料を集めたり絵を描き続けるなど、体力的にも大変な仕事だと思いますが、漫画家になるためにこれから絵を描き続けたいと思います。

町長のひとこと vol.55



今月は「賤ノ田サロン」代表の高橋節さんにお話を聞きました。このサロンは、集会所を借りて、近隣の会員22名が毎月第3火曜日を定例会として、楽しい雰囲気の中で活動しているとのことでした。サロンの活動内容としては、議会傍聴や旅行、芋煮会なども実施していて、ご近所の住民にも参加を呼び掛けているとのことでした。また「集会所トイレを洋式化してほしい」「買い物などで出かける際の交通手段の問題を解決してほしい」など、様々なご意見をいただきました。高齢化が進むということは、それまでの生活様式も変わるということ。そんな変化にも柔軟に対応できるように皆様のご意見を大切にするとまちづくりを進めて行きたいと強く感じた訪問でした。